

(資料A-2-1)

はじめに

財団法人日本エステティック研究財団発行「エステティックの衛生基準」をサロンで実行するための手順となります。別添の「エステティックサロンにおける衛生管理の注意点」「器具・用具類の消毒方法」「チェックリストのたたき台」をよく読み、準備を進めてください。

準備について

衛生管理責任者を決めます。衛生管理責任者は、日々衛生管理がきちんと実行されていることを確認します。

↓

お客様の皮膚に直接触れるもので使い捨てでないものをリストアップします。(使用しているものを集めるだけでもOKです)

↓

使い捨てのものに転換できないかどうか検討する。(なるべく使い捨てにした方が作業効率向上につながります。コストや施術の演出等を勘案して慎重に検討して下さい。無理して衛生管理が続かないようであれば意味がありません。)

↓

別添一覧表を見ながら素材ごとに分類します。

↓

分類できたら、一覧表の中で消毒方法を選択し、消毒薬等を用意します。(消毒方法の種類はなるべく少なくします。) ※ヒビテンが入手しづらいとのお問い合わせが何件かありますが、エタノールに10分間つけるあるいは、ミルトン等の消毒液でも代用できます。

↓

使用済みの器具等を入れる蓋つきの容器と消毒済みの蓋つきの容器を用意しそれぞれ「使用済み」「消毒済み」の表示を付けます。

↓

消毒の手順を決めます。(例えば、お客様1人ごとに消毒するのか最後にまとめて消毒するのか等)

↓

別添チェックリストたたき台を見ながら、チェックの手順を決めます。(健康状態をチェックする担当者を決め、清掃は実施した人がチェックするトイレや水回りの清掃又はチェックは1日誰が何回行うか 等) 1日の業務の中でスムーズに行えるよう決めます。

(資料A-2-2)

エステティックサロンにおける衛生管理の注意点

1. 玄関・待合室

お客様からサロン内に持ち込まれるものを、最小限に防ぐ。

- * 入り口でエタノールなどによる消毒。(理想は、手洗いをしてもらう)
- * 消毒後、拭き取ることが大切なポイントなので消毒用ウェットティッシュは効果的。
- * スタッフ自身も、外から入ってきたときは「手洗い・うがい」を実践する。

2. お客様が使用するものへの準備

使い回しは無いように注意する。(複数のお客様が同じ物を使用しない)

- * トイレ・手洗いの手拭きは、ペーパータオルが良い。石けんは液体のポンプ式。
- * パウダールームのコットンや綿棒などは、蓋付きのケースに収納する事。ブラシ類をおくときは、使用毎に交換する。化粧品類の共用は避けた方が望ましい。
- * 施術ルーム内の、ハンガー・ワゴン(お客様の肌に触れた器具を置いた場所周辺)・収納ケースなどお客様が使用した道具は消毒して次のお客様に準備する。使用毎に取り替えるものは別。

3. シャワールーム・トイレの清掃 (常時換気しておくこと)

お客様が肌で触れる設備なので、特に注意が必要。

- * トイレは、使用毎とはいかなくても1日でチェックする回数が多い方が望ましい。
- * シャワールームは、使用后清掃し乾燥状態で管理することが望ましい。

4. 消毒のポイント

ゴム手袋を着用して行う。直接使用済み器具に素手で触れない意識が大切。

- * 洗浄と消毒の手順を最小限にしておく、効率的で消毒の不備や手のかかり具合が減ってくる。
- * タオル類は直接肌に接するものは、白地にすると塩素系の消毒も気にならずに行える。直接触れず表面にくるものは、サロンに合わせて色やデザインを選ぶと良い。
- * 消毒した全てのものが、密閉されるケース・容器・棚にて保管できるようにする。リネン業者に依頼しているタオル類は、使用直前まで袋に入れたままが良い。

5. サロン内は湿度が高くなりやすいので、換気は十分に注意し細菌やカビなどが繁殖しやすい環境を防ぐ。

器具・用具類の消毒方法

消毒方法		エタノール水溶液	塩素系薬剤水溶液(ハイター等)	煮沸による消毒	紫外線照射による消毒	蒸気による消毒(蒸し器など)	逆性石鹼水溶液(オスバン等)	グルコン酸クロルヘキシジン	両性界面活性剤(テゴ-51等)
器具・用具類									
ガラス類	ガラス管・小皿・ボール・カップ等	○	○	○	○	○	○	○	○
木の材質	オレンジウッドステックなど			○					
獣毛類	刷毛・ヘアブラシなど	○	○		○		○	○	○
合成ゴム素材	スポンジなど	○	○				○	○	○
陶磁器類	小皿・ボールなど	○	○	○	○	○	○	○	○
綿布類	タオル・バスマット・スリッパなど	○	○	○		○	○		○
合成樹脂素材	スパチュラなど	○	○		○		○	○	○
鉄素材	体重計など	○			○		○	○	○
ステンレス素材	ハサミ・ツイザー・ネイルニッパーなど	○	○	○	○	○	○	○	○

※表内の○印は、その素材に適した消毒方法であることを示しています。

①サロン内で使用する消毒薬は、種類を少なくすることで作業効率が良くなるので各サロンに適した選定をする。

②血液が付着した場合の消毒は、エタノール、塩素系薬剤、煮沸のいずれかを使用する。

資料A-3

衛生管理ツール類に対するコメント一覧

① 今回配布したツール類とエステティック店舗で実行している衛生管理との相違点

1) 従業員の健康状態に関するコメント(6件)

従業員の健康状態、身だしなみは、本人からの報告又は互いに指摘し合い正せる信頼関係がある。
「従業員の健康状態」項目がなかったのが当店でも取り入れたい。

他4件

2) 入口や待合の衛生管理(23件)

スリッパ→毎日ほこりを取り除きリセッシュ噴霧 2~3ヶ月毎に新しいスリッパに交換している。
スリッパの消毒を毎日していませんでした。(2件)
下駄箱→ない スリッパ→裸足でご利用の場合は、毎回洗っている。 ロッカー→ない 手洗い設備→住まいの汚れ落としやブラシできれいにした後、水分(水滴)を拭いている。
スリッパは、使用都度洗濯、その他はすべてハイターで拭いていました。
スリッパを使い捨てにしている。
スリッパ→使い捨てシートを利用(3件)
スリッパは汚れを見て洗濯(水洗い)
入り口、待合に関して衛生という概念がなかった。単に清掃のみを行っていた。(4件)
清掃:素材により対処できるものとできないものがある。サロンは病院ではありません。ファッション性の高いものが多く取り入れられており、病院の壁・床・ドアと同等には対処できない。 清掃:ドアノブファッション性の高いものが多く、金メッキ処理されているものが多い。エタノールでその都度拭いた結果、メッキがはがれ、ドアノブの取り換えに発展したケースが過去あり、これも現実的ではない。
入口にエタノール等による消毒スペースを設けていない→今後専用カウンターを設置し、お客様へも注意を促していく。
玄関や待合にお客様用の消毒薬は用意していない。(3件)
お客様のおむかえはおしぼりを差し上げてました。冬場の風邪の流行している時期は手指消毒用エタノールを入りに設置していますが、ほとんどの方がご使用なし。
玄関、待合室入り口での消毒。トイレにも「手洗い、うがい」のスペースとともに消毒を用意しています。
入り口でのエタノール消毒→ホットタオルで対応。
ご来店してすぐ手洗いをお勧めするのは難しいが、お着替えの後シャワールームで手と足を洗っていただいております。

3) トイレや手洗い等の衛生管理に関するコメント(21件)

トイレ手洗いの手拭きには、タオルを使用。毎日新しいものと交換(ペーパータオルは使用していない)(2件)
手洗いの手拭きは、ペーパータオルではなく、専用タオルをこまめに交換している。
トイレの手拭きはタオルを使用している。
トイレの手拭きタオル+ジェル状消毒液設置。
トイレ手洗いの手拭き→ハンカチタオルを準備し1回に1枚使用していただいている。(6件)
水回りでペーパータオルは使用していません。(3件)
手拭き(ペーパータオル)→自然に優しいをテーマにしていますのでゴミが増えるのが苦手です。ハンドタオルを1回毎使用洗濯しています。
トイレは毎日1回床とドアと便器のみ水拭きし、壁は1週間ごと水拭きします。消毒液の保管場所は1カ月ごとにチェックしています。
トイレ・流しなど使った人がその都度チェックし清掃。
トイレは、お客様がお帰りになるたびに清掃する。

他3件

4) リネン・器具類の「使用済み」「消毒済み」容器に関するコメント(11件)

使用済みの器具を入れる蓋付きの容器はないが、使用后すぐに洗浄、殺菌処理を行っている。(4件)
自宅を改造してサロンを営んでいます。私一人で営業しているフェイス専門店なのですべて私自身が準備し使用済みの器具は使用後にそのままボール等に入れ蓋はしていません。
「使用済み」「消毒済み」の表示した容器が蓋付きではない。(2件)
使い捨ての部分や消毒済み、使用済みの表示は実行できていません。
使用済みと消毒済みの容器は作っていません。
消毒したすべてのものが密閉されるケース、容器、棚に保管できるようにする。→保管スペースが取れない。
タオルを保管するクローゼットは、内側を総桐にしたので棚を置き密閉はしていない。

5) 消毒方法に関するコメント(63件)

消毒は、エタノールを使用しているため、複数の消毒液の準備をしていない。
ドアノブ等はエタノール消毒をプラスして行う。(3件)
お客様に入るごとに技術者の手指消毒(エタノール水溶液)
ハイター、エタノール、煮沸消毒を絶えず1回毎に行っている。

グルコン酸クロルヘキシジンと両性界面活性剤は使用していないが、他はすべて実施しています。
煮沸による消毒 蒸気による消毒 紫外線照射による消毒
塩素系薬剤水溶液 紫外線照射による消毒
ステンレス、ガラス等の消毒は、その都度ヒビテン消毒を行い、1日の終わりにまとめて紫外線消毒を行っていた。
器具は、ヒビテンとステアライザーを使用。ドアノブ等は、エタノールで消毒しております。
洗剤洗浄後エタノール10分、小さいものは紫外線消毒器へ。
ヒビテン、エタノールのほかに紫外線消毒器使用(2件)
ソファ(材質の問題があり洗剤にて行っている)
ミルトンで代用できるところが入手しやすく便利になりました。
スプレー式の消毒で絶えずスプレーしている。マスクを着用する。
タオル、バスマット、スリッパは、洗濯後消毒効果のある仕上げ剤使用のみ。
ドアノブ等ウイルスプロテクト噴霧(2件) 水拭きのところは超酸化水で
床は家具用合成洗剤で拭く
タオル類は、洗濯した後、天日で乾かし、乾燥機で除菌する。
ドアノブ→1日1回洗剤を使用して水拭き(2件) 床→毎日掃除機、カーペット回転クリーナー一年4回程度雑巾で拭く
ソファは、ファブリーズ噴霧
待合室に空気清浄機、施術室に除湿機を設置。
部屋の床は、水拭き後ウェットティッシュつきのフローリングワイパーでその都度拭く。
機器の消毒は、アルコール(消毒用ウェットティッシュ)を使用している。
機器の消毒にエタノールを使用していたが、プラスチック部分のひび割れがあった。
ベッドは、エタノールで拭いた後でベッド用タオルをかける。
ベッドの清掃について、バスタオルを敷き、お客様ごとに取り換えています。(2件)
ベッドですが、シーツの上からおひとりごとに使い捨てシートにしています。(3件)
更衣室→ロッカーは使用毎に清掃、消毒を行っている。清掃の仕方(消毒の方法)は別紙フォーマットに記載している。
お客様が使用されたハンガー、衣類を入れるかごはその都度消毒していない。
ブラシ類の使用毎の交換 消毒したものが密閉されるケース容器に保管
消毒するときにゴム手袋の着用をしていなかった。(3件)
タオルが白地ではない。
ドアノブの毎日の消毒や機械、ベッド等もその都度というのはやっていない。
施術室のベッドは、お客様ごとのエタノール消毒はしていない。リネン、ペーパーショーツはかえている。
壁は掃除しておりません。壁は必要ないと思います。
お一人様終了ごとに消毒・清掃(3件)

他15件

6) その他(21件)

タオル・スポンジなど そのつど新しいものを準備する。
チェックリストを作成していない。
パウダールームのコットン、綿棒→個包装の綿棒等を使用、蓋付きケースは使用していません。
全体→週1回、月1回に分けてチェックシートを活用している。各部屋ごとに分けてチェックシートを活用している。
施術室にて更衣、施術後にお茶を飲んでいただいている。
インフルエンザ流行時期は、スタッフはマスクを着用
全部を使い捨てにできないので、いろいろ工夫して今後も衛生的に管理していこうと思います。
洗面台等には設置している。準備不足がこの度発見でき改善するきっかけとなりました。
チェックリストを作成していなかったため、もう少し大まかなチェックをしていました。参考にさせていただきます、強化します。
身だしなみ→チェックリストの項目プラス歯磨き、マスクの着用を義務付けている。

他11件

② ツール類を使用してエステティックの業務との兼ね合いで不都合な点について

● 不都合な点(業務との兼ね合い)(8件)

お客様の予約が込み合ってしまうと、機器とトイレが使用毎に消毒ができない。(2件)
施術ベッドにタオル地のカバーをかけていますので「原則としてお客様ごとにエタノールで拭きとる」のは難しいです。カバーは2週間に1回取り換える程度。
リネン業者に依頼しているバスタオル、フェイスタオル類は、10枚ごとの袋に入っているため施術時前まで袋に入れておくと作業(施術)が間に合わず効率的ではない。
スリッパは毎回のエタノールは難しいため使い捨てシートを用意する。ヘアブラシは現在使用している材質以外のものを買いたす。
使用後毎回蓋付きの容器に入れること
ブラシ類、ハンガー、収納ケースの使用毎の消毒は難しい。

ハンガー、ワゴン、収納ケースなどを毎回消毒するか交換する。

● 不都合な点(素材、作業上)(10件)

リネンの容器収納 リネンの消毒
ソファは布張りなのでカバーをかけるのが不適切、エタノールも薬品やけが心配(2件) 床、壁、窓、空調設備照明、換気扇、排水溝は、毎日は難しい。
テーブル、いす→籐のため逆性石鹼液は難しいです。クロスも雰囲気・・・上のガラス面はエタノール清掃他は水拭きはします。
テーブルクロスも毎日の洗濯は難しい、消毒方法の工夫 ベッドの消毒は、直接お客様に触れるものはすべて一客毎に取り替え
待合室のソファが布製なのでカバーの下のソファは定期的にファブリーズする。
ブラシの消毒→オスバン液で消毒しているのですが、持ち手部分が木の場合どうしたらよいのでしょうか。
ワゴンやベッド→木 カゴなど→籐 効果のある消毒方法が煮沸のみですが、それはできません。
ほかに方法はありますか?
タオル類は、敷くもの掛けるものなどで色分けしているのですが、すべて白にしてしまうと見分けがつかなくなる。(2件)

● 不都合な点(設備上、美観上)(5件)

トイレのペーパータオルですが、1日3件くらいのお客さまで、利用されないお客様もおられ、使い切るのに長くかかるのため、残ったものが不衛生な気がします。
トイレ手洗いの手拭きをペーパータオルに変更してみたが、コストもかかり、紙が散ったりして汚なく見える。
煮沸消毒は、設備の都合上不可能(2件)
トイレのペーパータオル取り付けができない(賃貸なので) 置くスペースもない。

● 不都合な点(ベット)(4件)

施術用ベッドの消毒は、タオル等を引いているのでタオル交換のみです。(2件)
ベッドですが、シーツをかけていておひとりごとに使い捨てシートにしています。(2件)

● 不都合な点(その他)(15件)

お客様用においてあるメイクアップ化粧品類の使い回しができないと困る。
当店の方が項目事項が多いので細かくチェックできると思われる。(4件)
お肌が敏感でエタノール等の消毒ができないお客様がいらっしゃいます。
種類が多すぎる
玄関・待合での手洗い、消毒対応不可→来店直後と帰りの際に手拭きおしぼりで対応している。
室内及びトイレ、シャワー室、玄関等、お掃除専門の人を置き、一日一回掃除を担当してもらう。便器等はスタッフが気付いた時清掃する。
個人経営なのでコストを削減できるものは使い捨てをせず消毒等して使用しております。
発熱、下痢の症状で、インフルエンザやノロウイルスなど、感染が考えられる症状を詳細にさせていただけると判断しやすいです。

他4件

③ ツールの改善点について

● 改善点(ツールのレイアウト、表現)(8件)

他の項目が書き込めるよう、空白欄があるとよい。
1枚で1週間分使用できると使いやすい
一日に何度かチェックする箇所は時間を記入できるようにしてほしい。
時間毎のチェック項目が必要と思われる。
各部屋、各場所ごとにチェックシートを整備したほうが良いと思われる。
清掃と衛生・消毒に大別し、週単位及びスタッフ平均4名の管理が可能な工夫があれば使いやすくなると思います。現行のものであれば個人サロンであれば使用可能と思います。

他2件

● 改善点(追加事項)(4件)

受話器、レジ、メニュー表、ロッカーの取っ手、ロッカーキー、パソコン等の比較的触れる物への消毒もあればいいと思う。
マスクや手指消毒方法も加えるとよいと思います。
排水口もゴミ等は毎回取るがパイプマン等の使用は当サロンは週1回です。窓や壁等大がかりなところは週1回や月2回等だいたい目安があった方がいいと思う。(2件)

● 改善点(その他)(9件)

まず来店時の健康チェックが大事である。すぐれない場合は断ることが大事。変だと思ったらドアのノブなどすべてそのお客様が通った後拭かなければならない。それでも防げず感染が広がってしまいま入口のスリッパの消毒はエタノールもよいけれど、まるで病院のようです。抗菌作用のあるアロマの噴霧はどうですか。

水回りの洗浄液とは(キッチンハイターやパイプマンでしょうか)

消毒方法でエタノール水溶液に適した用具類でスポンジ、タオル等記載されていますが、化粧品で汚れている状態でエタノール水溶液に浸すのでしょうか。当店では、スポンジ、タオル、綿布類のスリッパは洗剤で洗い、日光に当てて乾かしています。汚れたガラス管、小皿、ボール類、スパチュラ、ヘアブラシ等も1度洗剤で洗った後エタノール水溶液を含ませたコットン等で拭いています。お客様に使用するときは紫外線照射による消毒をしています。

大変わかりやすくまとめてありましたのでよいと思います。今後も活用したい。

他4件

④ 衛生管理に対する疑問等

● 困っていること(4件)

忙しく、1日ずっとお客さまに入り、トイレ、シャワー等の途中チェックができないことがある。

石鹸、アルコール、湯で手が荒れて困る。

お客さまによっては、トイレを数回使用されるが、その都度チェックするのが難しい。お客様用に便座除菌シートを置いている。

朝の準備のときはエタノール消毒等でできると思うのですが、一客毎になると予約状況によってはできないことがあると思います。

● 質問(13件)

以前は、エタノール(消毒する場所・物によって、エタノール含有のカット綿や噴霧)を使用していましたが、最近ではウイルスプロテクト(サロン専用強力除菌消毒水)弱酸性次亜塩素酸除菌消毒水を使用しています。「手指の除菌、用具・機械などサロンのあらゆる除菌・消臭に」と言われています。代用品(エタノールの)としてこのまま使用してもかまわないのでしょうか?

病院でさえ徹底されているとは思えない(見受けられない)内容をなぜエステに適用しようとしているタオルケットなど大きいものはお一人ずつ交換できないがその場合はどうするか?

サロン内の壁は、水拭き等し過ぎると、紙なのでよれてしまい、汚くなってしまうがそれでも毎日拭いた方が良いのか?

トイレの手拭きは、タオルで対応しています。トイレ内にエタノールは設置していますが、その対応で問題ありませんでしょうか?

玄関には、エタノールを設置していません。ご来店とお帰りの際におしぼり対応しています。メイクスペースにはエタノールを設置していますが問題ありませんか?

ベッドシーツは、お客様ごとに交換対応。色の濃い布を使用しているため、消毒液等を使用した洗濯はしていません。個人のため、リネンはすべてサロンで洗いますがいかがでしょうか?

床暖房のため、スリッパなど履かないため、一人終了ごとに床清掃しているのですが、オイルをしっかり取り除くことが大変。きれいに落とす方法はありませんか?今は蒸気の出るモップ見たいのでやっています。(汚れ除菌&抗菌)

他5件

● その他(4件)

オーナーズエステティシャンなのですが、参考にさせていただき作成してみました。これから利用していきます。ありがとうございました。

ここに記載されていることは毎日実行しております。エタノールのスプレーを詰め替えて使用しております。何はともあれエタノールという感じです。エタノールをスプレーして拭き取ることをしています。

常に衛生管理に気を付けていますが、今回のたたき台(チェックリスト)を参考にリストを使用し、チェックをし、細部まで忘れないように、しっかり記入することで確認の徹底に努めてまいります。

他1件

(衛生管理ツール類 改訂版)

エステティックサロンの衛生管理 導入の手引き

資料A-4-1 準備について

資料A-4-2 エステティックサロンにおける衛生管理の注意点

資料A-4-3 器具・用具類の消毒方法

(資料A-4-1)

はじめに

財団法人日本エステティック研究財団発行「エステティックの衛生基準」をサロンで実行するための手順となります。別添の「エステティックサロンにおける衛生管理の注意点」「器具・用具類の消毒方法」「チェックリスト」をよく読み、準備を進めてください。

準備について

衛生管理責任者を決めます。衛生管理責任者は、日々衛生管理がきちんと実行されていることを確認します。



お客様の皮膚に直接触れるもので使い捨てでないものをリストアップします。
(使用しているものを集めるだけでもOKです)



使い捨てのものに転換できないかどうか検討する。(なるべく使い捨てにした方が作業効率向上につながります。コストや施術の演出等を勘案して慎重に検討して下さい。無理して衛生管理が続かないようであれば意味がありません。)



別添一覧表を見ながら素材ごとに分類します。



分類できたら、一覧表の中から消毒方法を選択し、消毒薬等を用意します。(消毒方法の種類はなるべく少なくします。)※消毒方法は、一つの器具につき1種類を選択します。例えば、消毒を行う器具類がガラス管、スポンジ、タオル、はさみのときは、エタノール水溶液とハイター等タオルを洗濯する際の塩素系漂白剤の2種類で全て消毒できます。(※注 別添「消毒方法」にあげられている方法をすべてそろえたと考えていると思われるコメントがあったため修正した。)



使用済みの器具等を入れる蓋つきの容器と消毒済みの蓋つきの容器を用意しそれぞれ「使用済み」「消毒済み」の表示を付けます。



消毒の手順を決めます。(例えば、お客様1人ごとに消毒するのか最後にまとめて消毒するのか等)



別添チェックリストを見ながら、チェックの手順を決めます。(健康状態をチェックする担当者を決め、清掃は実施した人がチェックする トイレや水回りの清掃又はチェックは1日誰が何回行うか 等) 1日の業務の中でスムーズに行えるよう決めます。

資料A-4-2

エステティックサロンにおける衛生管理の注意点

1. 玄関・待合室

お客様からサロン内に持ち込まれるものを、最小限に防ぐ。(除菌マットを敷く)¹⁾

- * 入り口でエタノールなどによる消毒。(理想は、手洗いをしてもらう)おしぼり(一旦80℃以上に熱したものを60℃くらいで提供)も効果的。²⁾
- * 消毒後、拭き取ることが大切なポイントなので消毒用ウェットティッシュは効果的。
- * スタッフ自身も、外から入ってきたときは「手洗い・うがい」を実践する。

2. お客様が使用するものへの準備

使い回しは無いように注意する。(複数のお客様が同じ物を使用しない)

- * トイレ・手洗いの手拭きは、ペーパータオルが良い。普通のタオルを使用する場合はお客様ごとに交換が望ましい。³⁾石けんは液体のポンプ式。
- * パウダールームのコットンや綿棒などは、蓋付きのケースに収納する事。ブラシ類をおくときは、使用毎に交換する。化粧品類の共用は避けた方が望ましい。
- * 施術ルーム内の、ハンガー・ワゴン(お客様の肌に触れた器具を置いた場所周辺)・収納ケースなどお客様が使用した道具は消毒して次のお客様に準備する。使用毎に取り替えるものは別。

3. シャワールーム・トイレの清掃 (常時換気しておくこと)

お客様が肌で触れる設備なので、特に注意が必要。

- * トイレは、使用毎とはいかなくても1日でチェックする回数が多い方が望ましい。
- * シャワールームは、使用后清掃し乾燥状態で管理することが望ましい。

4. 消毒のポイント

ゴム手袋を着用して行う。直接使用済み器具に素手で触れない意識が大切。

- * 洗浄と消毒の手順を最小限にしておくこと、効率的で消毒の不備や手のかかり具合が減ってくる。
- * タオル類は直接肌に接するものは、白地にすると塩素系の消毒も気にならずに行える。直接触れず表面にくるものは、サロンに合わせて色やデザインを選ぶと良い。
- * 消毒した全てのものが、密閉されるケース・容器・棚にて保管できるようにする。
リネン業者に依頼しているタオル類は、使用直前まで袋に入れたままが良い。

5. サロン内は湿度が高くなりやすいので、換気は十分に注意し細菌やカビなどが繁殖しやすい環境を防ぐ。

※変更点1)サロンの入口の衛生管理が実行されていないとのコメントがあったことから追加した。

2)来店時に手洗いやアルコール消毒が任意となり利用して貰えないとのコメントがあったため追加した。

3)普通のタオルを使用しているところが12件あり注意喚起の意味で追加した。

器具・用具類の消毒方法

消毒方法		エタノール水溶液	塩素系薬剤水溶液(ハイター等)	煮沸による消毒	紫外線照射による消毒	蒸気による消毒(蒸し器など)	逆性石鹼水溶液(オスバン等)	グルコン酸クロルヘキシジン	両性界面活性剤(テゴール51等)
器具・用具類									
ガラス類	ガラス管・小皿・ボール・カップ等	○	○	○	○	○	○	○	○
木の材質	オレンジウッドスティックなど			○					
獣毛類	刷毛・ヘアブラシなど	○	○		○		○	○	○
合成ゴム素材	スポンジなど	○	○				○	○	○
陶磁器類	小皿・ボールなど	○	○	○	○	○	○	○	○
綿布類	タオル・バスマット・スリッパなど	○	○	○		○	○		○
合成樹脂素材	スパチュラなど	○	○		○		○	○	○
鉄素材	体重計など	○			○		○	○	○
ステンレス素材	ハサミ・ツイーザー・ネイルニッパーなど	○	○	○	○	○	○	○	○

※表内の○印は、その素材に適した消毒方法であることを示しています。

※タオル類については、塩素系薬剤水溶液を洗濯の際使用するのが望ましい。

①サロン内で使用する消毒薬は、種類を少なくすることで作業効率が良くなるので各サロンに適した選定をする。(すべての消毒方法をサロンに備え置くということではありません。)

②血液が付着した場合の消毒は、エタノール、塩素系薬剤、煮沸のいずれかを使用する。

(※注 別添「消毒方法」にあげられている方法をすべてそろえたと考えていると思われるコメントがあったため修正した。)

当初案	変更理由
<p>開店前にチェックを行い、記録する。特に下痢・発熱がある場合は、接客させずに速やかに医療機関を受診させる。</p>	<p>出勤時間に差があるというコメントがあり、修正した。</p>
	<p>給茶スペースやカウンターは、設置されてないこともあり、サロンの任意の項目を記載できる空欄がほしいとの意見もあったことから空欄にした。しかしほかの設備にも応用できることから注意事項は残した。</p>
<p>ほこりや髪の毛を取り除き、汚れのある部分は水拭きする。ノブ等よく触る場所は定期的にエタノール含有のカット綿で拭く。</p>	<p>壁について、壁一面を毎日水拭きするかのような誤解があったため壁の清掃方法について付記した。</p>
	<p>時刻表示ができるように:記号を入れた。以下同様</p>
<p>つまりや臭いをチェックし、清掃する。</p>	
<p>量を1日数回チェックする。</p>	<p>タオルを共用使用しているケースがあったため追記した。</p>
<p>1日数回清掃を行い、清潔に保つ。</p>	<p>(使用頻度により回数を決める)→客数により使用頻度にばらつきがあったので念のため追記した。壁等の清掃のポイントを追記した。換気扇については、空気清浄器の使用についてのコメントがあったことから念のため追記した。</p>
<p>髪の毛、水垢、ゴミ等がないように清潔に保つ。排水溝はつまりや臭いをチェックする。浴槽や床のぬめりはきちんと落とす。使用後毎回チェックを行う。</p>	<p>換気扇については、空気清浄器の使用についてのコメントがあったことから念のため追記した。</p>
<p>定期的な清掃と点検</p>	<p>設備の清掃についてやり方についてのコメントがあったため追記した。</p>
<p>洗浄・消毒・殺虫</p>	
<p>定期的に清掃</p>	<p>具体的に清掃頻度の目安を示してほしいとのコメントがあり追記した。</p>

(資料A-5)

衛生管理に関するQ&A

このQ&Aは、厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)「エステティックにおけるフェイシャルスキンケア技術の実態把握及び身体への影響についての調査研究」で行った衛生管理に関する調査でエステティックサロンの皆様から頂いた質問等をまとめたものです。

Q サロンの規模が小さく、「器具・用具類の消毒方法」にある消毒方法すべてをそろえられません。

A すべてそろえる必要はありません。目的は、サロンで使用しているお客様の肌に直接触れる器具・用具類を消毒することですから、その器具・用具類の材質に適した消毒方法を表の中から一つ選択して実行して下さい。消毒方法の中からエタノールや塩素系薬剤水溶液等幅広く使用できるものを選び、これらで消毒できる素材の器具・用具類で統一すると消毒方法を1種類準備すれば目的を達成できます。

Q 機能性よりファッション性を重視した内装にしている関係上、消毒液による劣化が激しいものがあるが、どうしたらよいか。

A プラスチックや金属には多くの種類があり、熱に強いもの弱いもの、酸性の薬品で変質しやすいものしにくいもの等それぞれ特徴があります。消毒を行う前にその素材がどのような特徴をもつのかを把握したうえで消毒方法を選択して下さい。(一般的には、変質しやすい素材でも消毒後きれいにふき取れば変質しにくいとされています。)

素材が分からない場合は、メーカーに素材の特徴と最適な消毒方法を問い合わせみてください。

なお、木製の家具は、エタノール含有のカット綿でふき取り、布製のソファ等の場合は、カバーをかけ、適宜はずして洗濯消毒するようにしてください。

Q 医薬品ではない除菌消臭効果をうたった市販品に効果は期待できるか？

A 除菌は菌量を減らすこと、抗菌は菌の増殖を抑えることを意味していて、いずれも消毒薬に求められている殺菌の効果はありません。個々の商品が機器等の消毒に適しているかどうかについては、薬局などにお問い合わせください。

Q スペースがなく蓋付きの容器を置けない、いちいち蓋をあけるのが面倒で蓋をあけたままにしている。

A 「消毒済」と「使用済み」の蓋付きの容器が必要なのは、消毒済みの器具類が浮遊する細菌等で汚染されないこと、使用済みの器具類を誤って再利用しないことや感染物質が拡散しないことが目的です。ですから、消毒済みの器具類は蓋付き容器もしくは扉が閉まる戸棚等への保管が望ましく、使用済みの器具類は消毒するまで蓋付きの容器に隔離する必要があります。例えば、スペースがないあるいは施術中にひと手間かけられない場合、一人のお客様への施術で使用する器具類を小分けして小さな容器に収納し、施術時に開封することでほかのお客様に使用する器具類は、安全に保管できます。このように目的を理解したうえで、業務の支障にならないような工夫をサロンごとで考えてください。

Q 感染症を予防する対策を教えてください。

A 感染は、身体の中に細菌やウイルスなどが侵入することで起こります。感染症を予防するためには、身体の中に細菌やウイルスを侵入させないことが重要です。そのため、接触感染、空気感染、飛沫感染等主な感染経路のメカニズムを理解して対策を講じます。手に傷がある場合には手袋をする、施術前後に手洗いと手指の消毒をする、人が良く触る箇所やトイレ等の感染のリスクの高い場所の消毒を徹底する、インフルエンザなどの流行時期にはマスクをする、などを実行して細菌やウイルスの身体への侵入を防ぎましょう。室内の換気をこまめに行い、施術の際に皮膚に直接接触した器具の取扱いも慎重に行います。また、直接皮膚に触れる器具やタオル類を複数の人に使用しないようにしてください。虫を介して感染するものもありますので、サロン内に虫が発生しないように清潔に保つことも大切です。

なお、感染症はご自身のお客様や他の従業員を介して、感染が広がる可能性があります。感染症にかかっている可能性がある場合には、速やかに医師の診察を受けてください。

資料 B

機器の安全性に関する資料

資料 B-1 P148 皮膚の生理機能

- 図1 メラニン量
- 図2 経表皮水分蒸散量
- 図3 表皮水分含有量
- 図4 皮膚粘弾性

資料 B-2 皮膚表面温度の測定

- 表1 P150 IPL美容機器のサーモレーザーでの最高温度経時的変化
- 図1 P150 被験者1 IPL美容機器サーモレーザー画像
- 図2 P151 被験者2 IPL美容機器サーモレーザー画像
- 表2 P149 RF美容機器の温度変化
- 図3 P152 被験者1 RF美容機器の皮膚表面温度変化の推移
- 図4 P152 被験者1 RF美容機器サーモレーザー画像
- 図5 P154 被験者5 RF美容機器の皮膚表面温度変化の推移
- 図6 P154 被験者5 RF美容機器サーモレーザー画像

資料B-1 皮膚の生理機能

図1 メラニン量

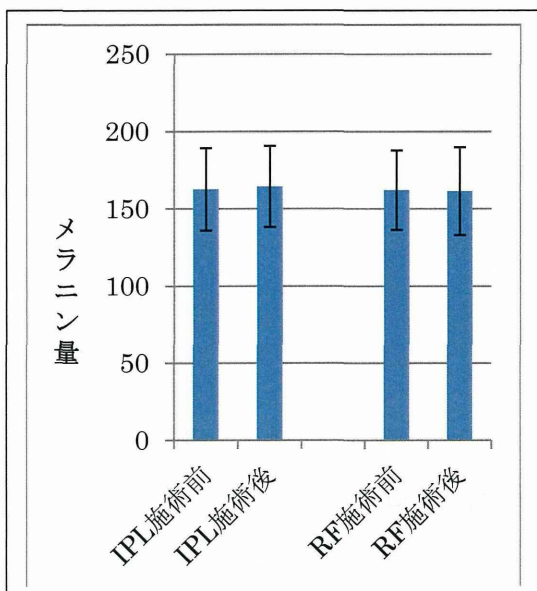


図2 経表皮水分蒸散量

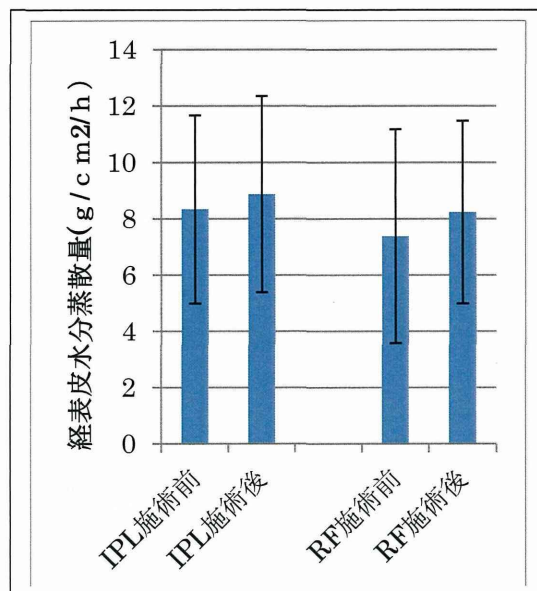


図3 表皮水分含有量

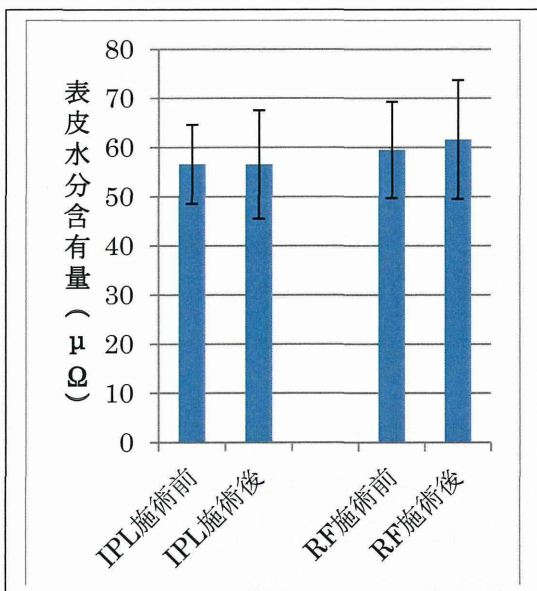
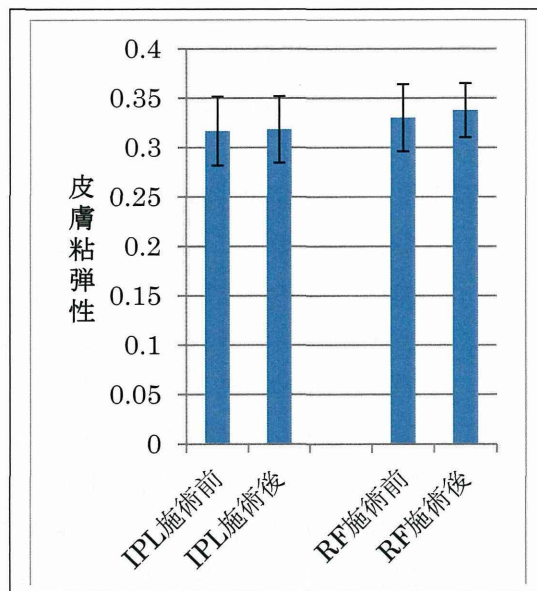


図4 皮膚粘弾性



資料B-2 皮膚表面温度の測定

表2 RF美容機器の温度変化(単位:°C)

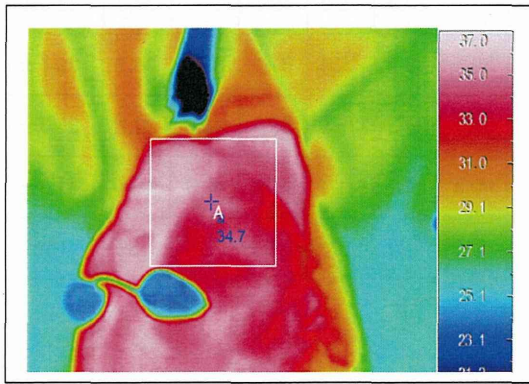
被験者番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均± 標準偏差
施術前	34.0	32.6	35.0	31.6	33.3	31.0	31.6	33.4	32.8	34.3	33.0	32.8	33.0±1.2
ジェル塗布後	30.9	30.8	30.6	28.3	31.9	27.7	29.0	29.5	29.8	31.4	30.6	30.9	30.1±1.3
施術開始 60 秒後	34.8	34.7	37.8	34.9	32.8	30.7	35.1	35.5	33.1	34.1	34.4	38.4	34.7±2.1
施術開始 120 秒後	37.4	36.5	38.0	35.8	32.9	34.1	36.4	37.6	37.4	36.5	36.6	39.1	36.5±1.7
施術開始 150 秒後	38.3	38.8	39.4	37.4	34.4	37.8	38.4	37.3	38.9	40.3	36.8	38.0	38.0±1.5
施術終了時	39.0	37.0	40.5	39.0	/	34.9	39.1	39.2	37.4	37.2	39.4	36.7	38.1±1.6
施術終了 30 秒後	35.5	34.3	36.8	36.2	34.1	33.8	36.1	36.3	35.4	35.4	36.9	32.9	35.3±1.3
施術中最高温度	40.9	39.9	41.4	40.7	43.5	41.9	40.3	41.2	41.4	41.4	41.7	41.4	41.3±0.9
最高温度を示す時(秒)	171	149	177	178	145	165	176	177	173	155	174	155	166±12

資料B-2 皮膚表面温度の測定

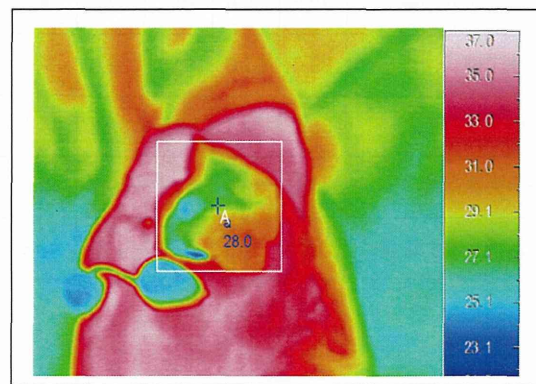
表1 IPL美容機器のサーモレーサーでの最高温度の経時の変化(単位:°C)

被験者番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均± 標準偏差
施術前	34.7	34.1	35.0	31.4	34.3	33.7	32.6	33.4	34.0	34.1	34.0	35.5	33.9±1.1
ジェル塗布後	28.0	28.8	28.2	24.3	29.4	25.5	27.1	28.5	29.8	28.0	27.4	27.8	27.7±1.5
施術直後	29.7	30.8	30.6	26.6	30.0	29.2	29.5	30.3	30.2	29.0	29.9	29.9	29.6±1.1
ジェル取後	29.6	30.6	31.2	28.1	30.3	29.0	29.9	30.0	30.7	29.8	30.0	29.9	29.9±0.8

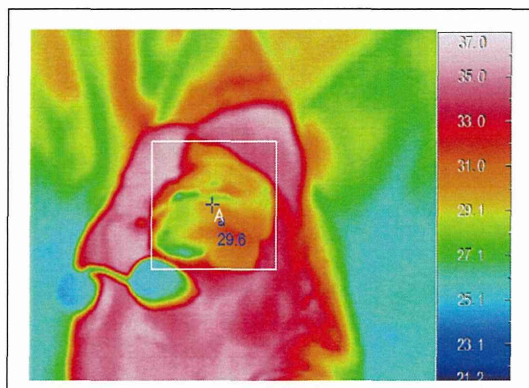
図1 被験者1 IPL美容機器サーモレーサー画像



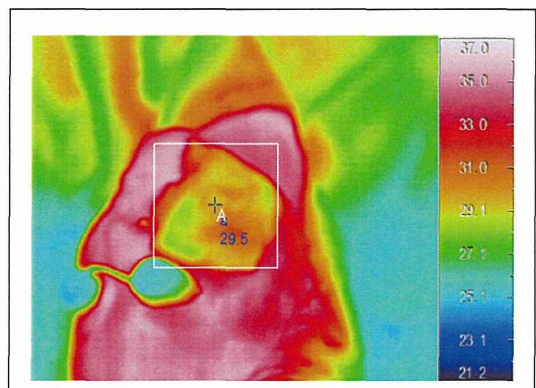
施術前 (ジェル塗布前)



施術前 (ジェル塗布後)



施術直後 (ジェル除去前)



施術後 (ジェル除去後)